

工事事務(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせ致します。

本資料を活用し、請負業者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願い致します。

【工事事務(速報)発生状況】 (H22.7.31現在)

	7月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成22年度(今年度)	10件	31件	0人	14人
平成21年度(昨年度)	4件	26件	0人	13人

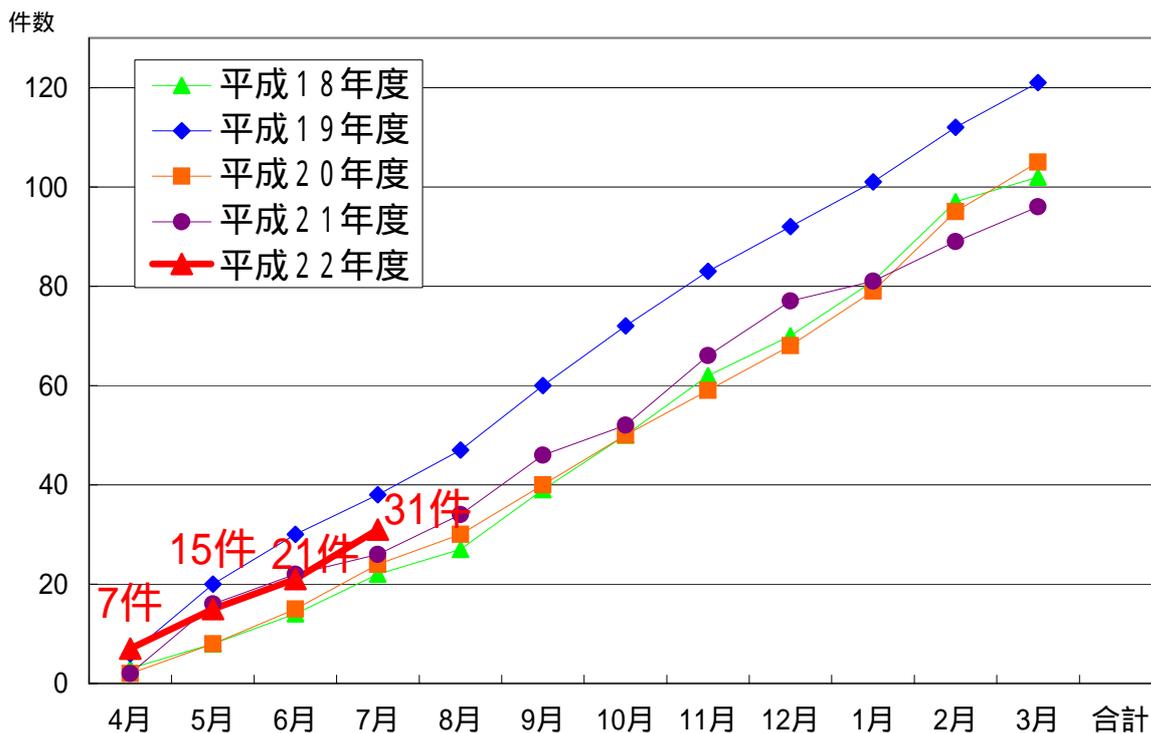
注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。

注2) 「7月発生件数」は、7/1～7/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～7/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～7/31の累計人数を示す。

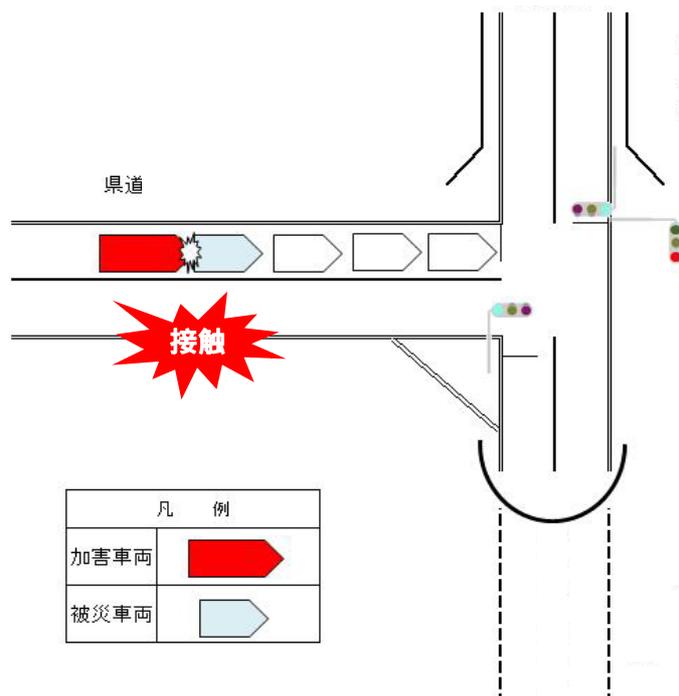
注5) 平成22年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。



問合せ先: 企画部 技術調査課 渡辺・直海 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 22 年 7 月 2 日 (金)	9 時 30 分	天候	雨
工事情報	河川系事務所 業務			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	第三者車両損傷
事故概要	走行中に信号待ちをしていた停車中の第三者車両に追突し、損傷させたもの。			

事故発生状況



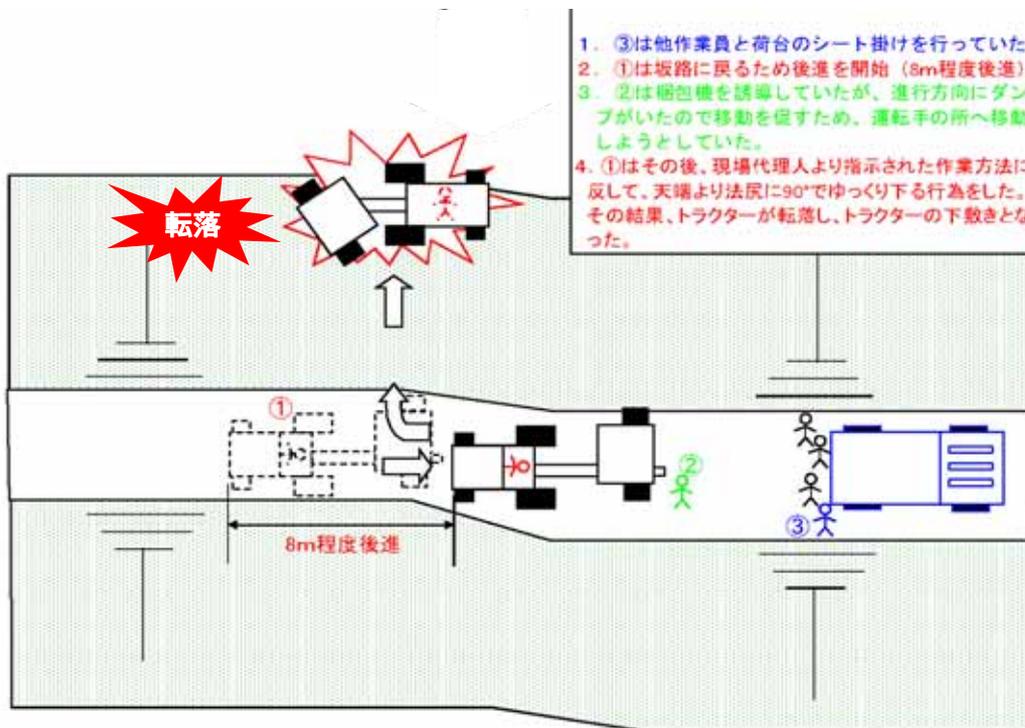
・足場にカバンを置いていたため、足を動かせる空間が狭くなってしまっていた。

【事故発生原因】
 ・足元に置いたカバンが支障となり、誤操作となったもの。

【事故防止のポイント】
 ・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22年 7月 4日 (日) 11時 20分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	67	作業員	骨髄損傷、肋骨骨折	
事故概要	堤防天端にて集草した刈草を梱包作業中、トラクター(梱包機)が転落し、作業員が下敷きとなり負傷したものの。				

事故発生状況



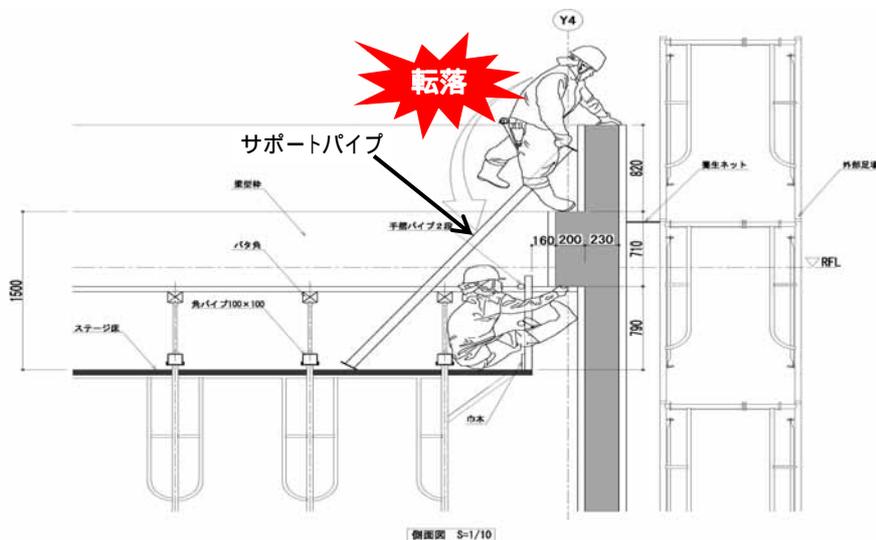
・堤防天端を法尻に向け90°で下ろうとしたため、トラクターが梱包機に押されて転倒した

【事故発生原因】
 ・作業員が独断で天端から直角に下りようとしたため。

【事故防止のポイント】
 ・作業員に対して建設機械の使用方法的指導・徹底。
 など

発生日時	平成 22 年 7 月 5 日 (月) 8 時 00 分			天候	曇
工事情報	菅繕系事務所 建築工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	57	作業員	肋骨骨折	
事故概要	躯体埋め込み金物の取付作業中に、移動しようと型枠サポートパイプを跨いだ際にバランスを崩して転落し負傷したもの。				

事故発生状況



【事故発生原因】

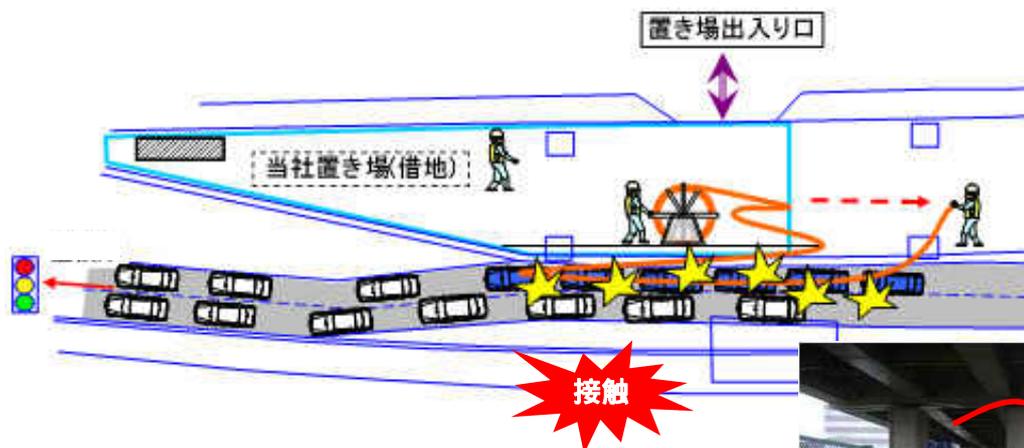
・作業用通路を使用せずに歩行禁止となっていた梁上を移動したため。 など

【事故防止のポイント】

・作業に応じた安全上の注意及び指示事項の周知・徹底する。 など

発生日時	平成 22年 7月 6日 (火) 20時 00分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	一般車両(6台)損傷	
事故概要	管路導通の点検の準備を行っていた際に、ケーブルが車道に飛び出し、一般車両に接触し損傷させたもの。				

事故発生状況



・リールに巻かれていた管路導通点検のケーブルを点検整備のため引き出していたところ、勢いがついてフェンスの外に飛び出し、信号待ちをしていた車両(6台)に接触し損傷させた。



ケーブルを巻いていたリール



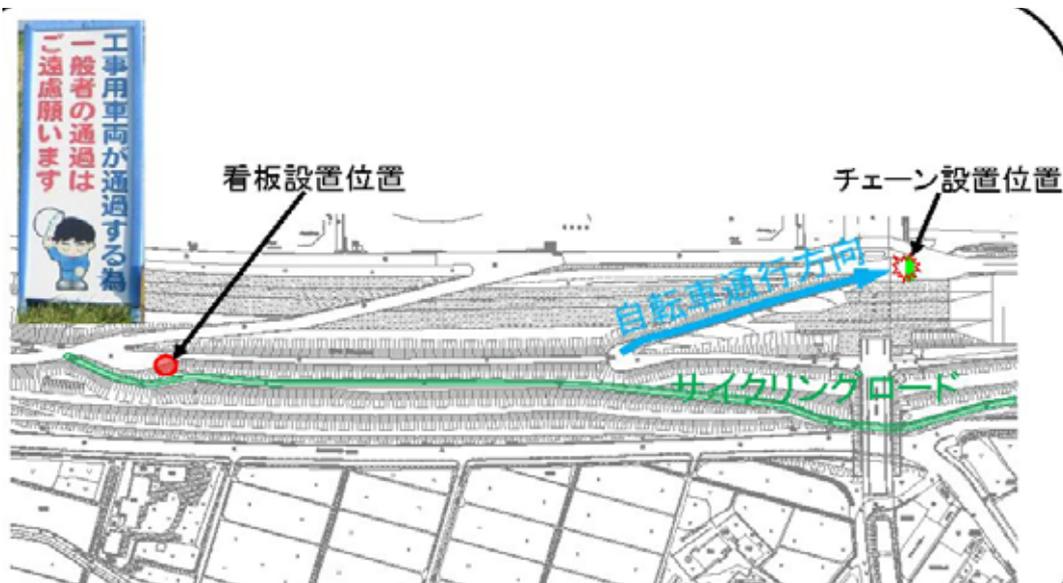
車両損傷状況

【事故発生原因】
 ・作業に関する注意が不足していたため。
 ・事前に器具の取扱い方法について確認していなかったため。 など

【事故防止のポイント】
 ・作業手順について作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 22年 7月 18日 (日)			AM3件	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男・女		第三者	うちみ、擦り傷(2名)		
事故概要	休工中の現場にかけてあったチェーンに自転車が衝突し、第三者、自転車が負傷したもの。(3件)					

事故発生状況



- ・工事箇所入り口には上記の看板を設置していたが、立ち入り禁止にはしていなかった。
- ・チェーンの前にカラーコーンを置いていたが、天気がよくてチェーンが見えにくかった。



チェーン設置箇所



対策後

【事故発生原因】

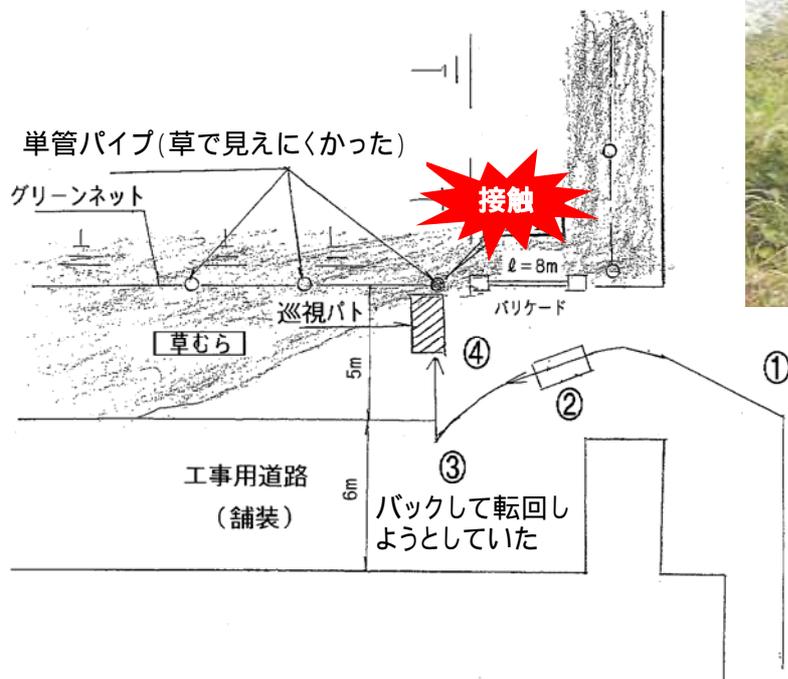
- ・第三者への安全配慮が不足していたため。 など

【事故防止のポイント】

- ・チェーンに反射テープ・明示テープを貼る。 など

発生日時	平成 22年 7月 22日 (木) 10時 50分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 業務		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	被災の程度		
	パトロールカー損傷		
事故概要	河川巡視中にパトロールカーを転回していたところ、単管パイプに接触し、パトロールカーを損傷させたもの。		

事故発生状況



接触した単管パイプ



損傷状況

【事故発生原因】

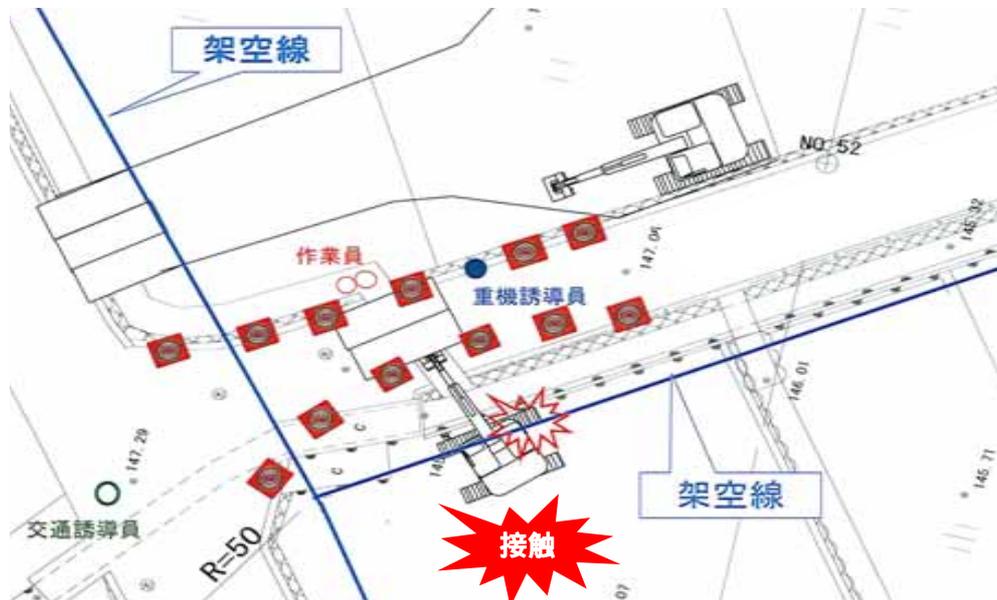
・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22年 7月 23日 (金) 15時 0分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	架空線(NTT線)切断	
事故概要	切廻し水路の基礎作業中にバックホウのバケットが架空線(NTT線)に接触し、切断したものを。				

事故発生状況



現場状況



損傷状況

【事故発生原因】

・オペレータに対して、架空線付近での作業方法の指導・徹底が不十分であったこと。

【事故防止のポイント】

・架空線近接箇所における作業方法の周知徹底。
・合図等誘導方法の確認など

発生日時	平成 22年 7月 26日 (月) 14時 0分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 業務		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
被災の程度	パトロールカー損傷		
事故概要	河川巡視中にパトロールカーにて倒木した木の下を通ろうとしたところ、車のスポットライトに接触し損傷させたもの。		

事故発生状況



・前回の巡回時に倒木を発見したが、木をよけて通行していた。
(後日撤去することが決まっていた)

・今回の巡回においても木をよけて通行できると思い、通行しようとしたところ、接触したもの。



損傷状況

【事故発生原因】

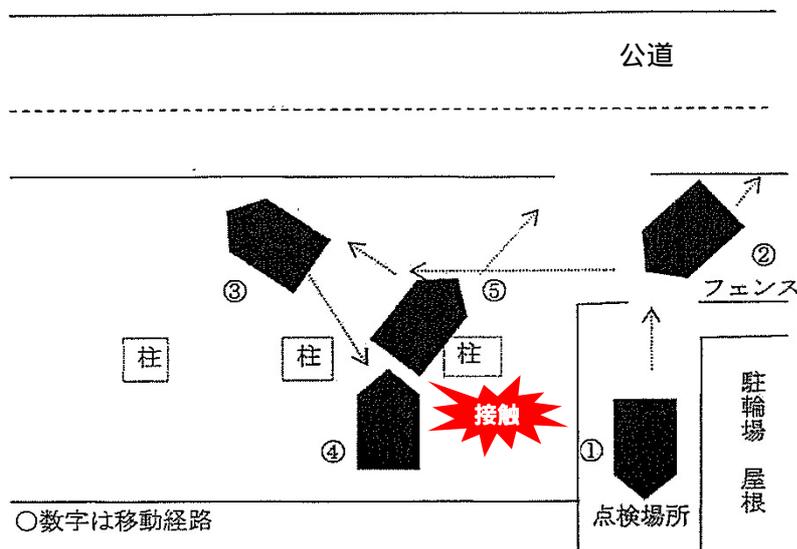
- ・運転手の思い込みによる運転操作によるもの。
- ・注意箇所を走行する際の安全確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
 - ・通行の可否について、降車して周辺の状況を確認する。
- など

発生日時	平成 22 年 7 月 26 日 (月) 17 時 35 分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 役務		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	衛星通信車を点検先から回送する際に、向きを変えるため転回を行っていたところ石柱に接触し、車両を損傷させたもの。		
	衛星通信車損傷		

事故発生状況



・車両は の場所に前方から駐車していた。
 ・公道の交通量が多く、前方から出ようと、車両を転回していたところ、柱にぶつかり車両を損傷させたもの。



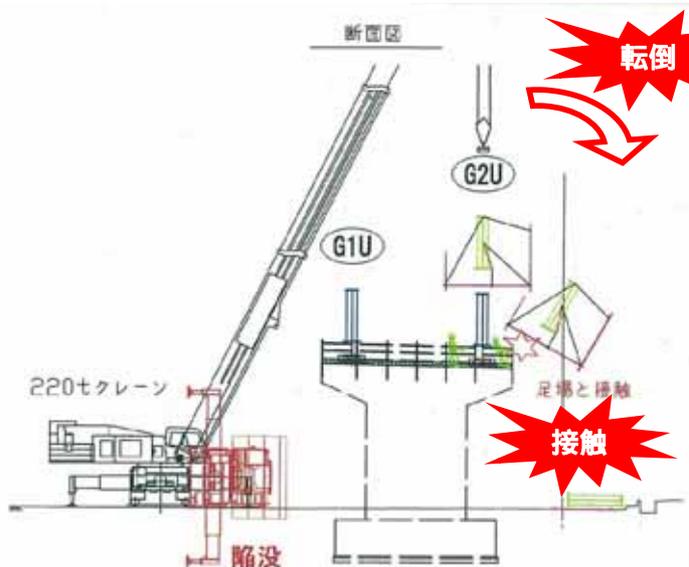
損傷状況

【事故発生原因】
 ・運転手の右側確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】
 ・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22年 7月 27日 (火) 10時 25分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	24	作業員	左大腿骨開放骨折	
事故概要	220tクレーンにて上部工の桁架設を行っていたところ、クレーンが横転し作業員が負傷したものを。				

事故発生状況



・220tクレーンにて桁架設を行っていたところ、**アウトリガーが陥没**し、クレーンが横転した。
 ・これにより吊荷の桁が落下し、桁下面に設置してあった足場が橋脚の上にいる作業員に接触し負傷したものを。



クレーン転倒状況



アウトリガー陥没状況

【事故発生原因】

・調査中

【事故防止のポイント】

・クレーン設置箇所の地盤の状態を確認。
 ・作業前及び作業中におけるアウトリガーの状態を確認。 など